

## 就労支援センターりぼん

### 1) R7年1～3月の実績報告

1日あたり利用人数            1月 22件    2月 23件    3月 24件  
 登録者                                    540人    (3月末現在)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	計
1～3月就職者	0	2	2	0	4
1～3月離職者	0	3	1	0	4
前月までの就職者	32	163	134	2	331
合計	32	162	135	2	331

(3月末現在)

### 2) 支援内容

①	経緯と今後の支援
入職	精神障害をお持ちの女性2名と知的障害をお持ちの男性2名がりぼん経由で入職。知的障害の2名については、企業実習を行ってからの入職となった。就職先は、卸小売業や製造業、運輸業だった。今後は定着面談や企業訪問等を行っていく。
離職	精神障害をお持ちの女性1名と知的障害をお持ちの男性2名と女性1名が離職。入職経由はそれぞれ支援機関や特別支援学校などであり、離職理由としては体調不良や契約満了などであった。今後はりぼんで面談を重ねていったり福祉サービスへの利用など方向性は様々である。

- ② 1～3月は年度末ということで通常の面談や電話対応などに加えて特別支援学校の卒業予定者に関する面談や訪問などが増えていた。また、長年安定して働いてきた方が就労中に課題が出てきたことで対応しなければいけないケースも見られ、現状の予定が埋まっている中で緊急ケースが出てきた際の対応についても課題となってくる。また、登録者が年々増加傾向にあることから面談数も全体的には増えてきているため、新規登録者や就活者の面談の頻度を増やして就職に向かいやすくしていくことと、登録者の中で割合の多い就労者の方々に安定している方々には面談時間の短縮や面談の頻度を検討していくことで、日々の予定管理とメリハリのある支援をしていきたい。
- ③ 2～3月にかけてわかかさ特別支援学校関係の会議などが行われる。学校側が主催する説明会に参加して卒業生の支援の確認と在校生の情報共有だけでなく、特に卒業後の離職の予防については狭山市・所沢市・入間市と学校側で話し合いを行い、在学中の関わりやアセスメントの共有などについて意見交換を行うことが出来た。ここ数年は、毎年10名を超える卒業生が就労支援センターへ登録をしている。在学中から関わりを持つことで、卒業後スムーズに支援を行えるように準備をする一方で、学校側との連携も不可欠なため双方の共通の認識として長く安定して働き続けるために必要な支援の協力をしていくことは共有出来たが、実際に学校側が得た情報をどのように就労支援センターへ共有して頂けるかについてはまだ決まっていないため、今後も3市で継続して話し合いを行っていく。

④ 大分類	小分類	計
就労前に関する支援	訪問相談・アセスメント	11
	来所就労相談・アセスメント	155
	電話就労相談・アセスメント	273
	就労準備・面接指導等	128
	同行（ハローワーク・面接等）、企業見学	0
	職場開拓	9
601	職場実習	25
就労後に関する支援	就労相談	0
	勤務先との調整（雇用条件、事業所支援、離職相談等）	6
	訪問職場定着・就労継続支援	44
	来所就労継続支援	187
716	電話就労継続支援	479
その他	会議等(ケース会議以外)	8

